

9月に入り、暑さが随分和らいできました。朝夕と日中の寒暖差を感じる日が増え、夏から秋への季節の移り変わりを実感できるようになりました。相変わらずコロナ禍で制限のある生活が続いていますが、子どもたちは感染予防をしながらも楽しく学校生活を送っています。今回は、校内の感染対策の様子をお伝えします。

【朝の検温チェック】



書

検温チェックの様子

毎朝、昇降口前で検温カードのチェックを行っています。学年の担当教員が、子どもたちの表情を見ながら、カードに

入るようにしています。平熱より体温が高い場合、咳や頭痛などの症状がある場合、家族に体調不良の方がいる場合などは、養護教諭による健康観察を行い、早退をお願いすることがあります。

毎朝、お子様の健康観察をして、検温カードへの記入にご協力いただき、ありがとうございます。

【教室の喚起】

現在、本館は外壁修繕工事のため、校舎全体が白い幕で覆われた状態になっています。そのため、南側、北側の両方の窓を同時に開けることができない場合があります（工事の進捗状況に応じて、どちらか片側の窓は必ず開けられるようにしています）。そこで、教室の出入り口の扉を常時開け、扇風機を回すことで換気を促しています。現在は、エアコンと扇風機を併用し、暑さ対策としても扇風機を使用しています。気温が下がる今後は、扇風機の風が児童に直接当たらないよう向きを調整しながら、換気対策として使用していく予定です。



本館廊下側の様子



本館南側の様子

【授業での感染対策】



タブレットを使ってる楽器練習

緊急事態宣言発出中の現在は、感染リスクの高い教育活動（児童が近距離で対面する活動、大きな声で話す活動、飛沫が飛んだり呼気がかかったりする可能性のある活動）は中止しています。子どもたちの学びをできる限り保障するため、グループ活動は、十分な距離をとり、マスクを着用して 15 分以内の短時間で行ったり、音楽の授業はタブレットを活用した鍵盤楽器の練習や音楽づくり、鑑賞の授業を充実させたりするなどの工夫をしています。

【給食の時間】

給食の配膳は、不特定多数の人が食器やしゃもじ等に触れることがないように、教職員が手指消毒後、手袋を着用しておかず等を盛り付けています。子どもたちは、順番に並び、マスク着用で自分の給食を取りに行きます。全員の食事が準備できると、マスクを外し、「ごちそうさま」をするまで、無言で給食を食べます。多くの子どもたちがルールを守り、協力して取り組んでいるので、通常の給食時間内に準備から片付けまで行うことができています。

【清掃】



配膳の様子



会食の様子

活動】

子どもたちによる清掃活動は、ほうきとフローリングワイパーを使ってる清掃や整理整頓などを中心に行い、水拭きやから拭き、トイレ掃除は教職員で行っています。ほうきなどの清掃道具に限りがあることと、教室が密にならないようにするために、交代制で運動場の草取りを行う子と通常の清掃を行う子に分けています。草取りを行う子には、必要に応じて軍手を持ってくるように伝えてあります。



草取りの様子



教室清掃の様子